

2024年度

2月6日 中間報告会

子ども安全パトロール

地域で見守る子どもたちの安全

たてやま青空の会



提案の概要

会員を募って「子ども安全パトロール」の帽子を配布する（PTA、地域、老人会などに声かけ）。子どもの登下校の見守りだけでなく、買い物、散歩、犬の運動など出かけるとき、いつもかぶってもらう。

子どもたちには、「子ども安全パトロール」の帽子をかぶっている人は、子どもたちの味方。困ったことがあった時、危ない思いをした時には頼ってよいと教える。

特に昨年度活動を広げられなかった地域にアプローチする

誰でも参加できる子どもの見守り

帽子をかぶるだけ…お金のかからない活動

シフトに縛られない自由な活動

誰でも、時間のある時、自由に活動



今年度課題としたこと

- 子ども見守り隊の活動が浸透している地域に偏りがある。——→ 今年度は、まだ活動の広がっていない地域にアプローチする。
- 会員になっても帽子をかぶって外出することが習慣となっていない人が多い。
——→ 活動の意味を改めて会員に周知する。

課題の克服により

- 館山小学校、北条小学校、現在の館山中学校、来年度移転後の館山中学校付近で見守る人を増やすことができる。
- 市内全体でのオレンジ帽子の密度を濃くできる。また、特に子供たちの登下校の時間に見守りをしようという意識を高めることができる。
- 子どもたちの安全を館山市全体で見守っていく機運を醸成できる。

2024年度の活動

- 4月13日 青空の会打ち合わせ
- 4月28日 船形ふれあいまつり 本部テントで帽子展示
- 5月 9日 市民協働事業プレゼン
- 6月 9日 船形芸能祭 オレンジ帽子活動紹介
- 6月21日 総会準備
- 6月30日 青空の会総会
- 7月10日 講演会準備
- 8月21日 連合町内会で青空の会の活動紹介

- 8月29日 館山市PTA連絡協議会で青空の会の活動紹介
- 9月29日 講演会「地域で守る子どもの安全」
講師 袖ヶ浦スクールサポーター
安藤昌美氏
- 11月1日 館山市老人会役員会で青空の会の活動紹介

新たな帽子活用として

- ・ 館山銀座通り商店街で、店頭にオレンジ帽子を置いてもらう
- ・ 車のダッシュボードにおくことで、オレンジ帽子で見守りの雰囲気を広める

今後の課題として残っていること

- ・ 帽子がまだ普及してない地域が多い
- ・ 帽子を持っていても被っていない
意識付けの取り組みがさらに必要
オレンジ帽子をかぶるのに抵抗がある人
には、持って歩けば良い、車のダッシュ
ボードにおくなどの提案



多くの大人がそれぞれの場
所で子どもたちの見守り



ご清聴ありがとうございました



たてやま青空の会